

広島市健康づくり計画

「元気じゃけんひろしま21(第2次)」とは

計画の概要

計画の目的

市民の健康寿命の一層の延伸を図るため、今後の本市の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。

計画期間

平成25年度から平成34年度までの10年間とします。
なお、平成29年度に、目標の妥当性や達成状況について中間評価を行います。

基本理念

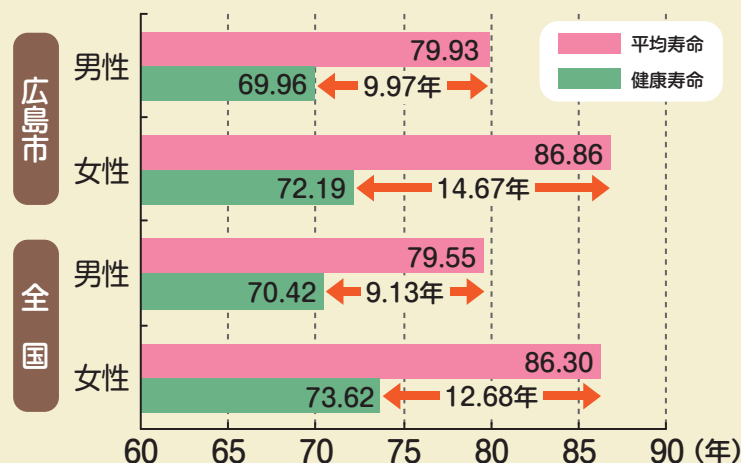
市民一人一人が、生涯を通じて心身ともに健康で自立した生活を送ることができる「まち」の実現

基本目標

健康寿命の延伸（平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加）
国の平成34年度の健康寿命を上回る）を目指します。

※健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間をいいます。

健康寿命と平均寿命（平成22年）



	健康寿命		平均寿命	
	男性	女性	男性	女性
広島市	69.96	72.19	79.93	86.86
全国	70.42	73.62	79.55	86.30

資料：全国の前平均寿命は厚生労働省「平成22年完全生命表」
その他は厚生労働科学研究「健康寿命における将来予測
と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」及び厚生
労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定

推進体制

本計画を推進するためには、市民一人一人が、乳幼児期から高齢期まで生涯を通じて健康づくりに取り組むとともに、社会全体でその取組を支援することが大切です。このため、「元気じゃけんひろしま21推進会議」等において、健康づくりに関する団体・機関等が情報を共有し、連携を図りながら、一体となって市民の健康づくりを推進します。



元気じゃけんひろしま21推進会議